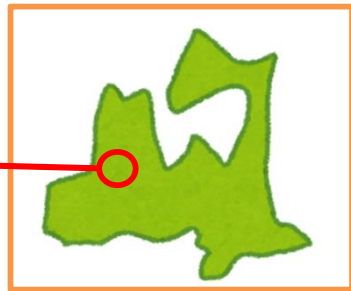


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(27年度:計画作成主体:つがるにしきた農業協同組合) (青森県)

取組の概要

- 対象品目 : 野菜(ねぎ) (産地面積28.3ha)
 主な取組主体 : 認定農業者12名
 成果目標 : 販売金額の10%以上の増加
 基準 (H27年度) 101千円/10a
 目標 (R2年度) 450千円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース:移植機、
 収穫機、選別機、根切り・葉切り・
 皮剥機)

青森県
つがる市
つがるにしきた
農協つがる野
菜部会ねぎ班
地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

当産地は、稲作を主体に、メロン・スイカ・ねぎの栽培が盛んな地域であるが、米価下落により高収益野菜への移行が求められている。そこで、稲作をより収益性の高いねぎに転換することで、販売額の増加を目指している。

しかし、取組面積の拡大や適期収穫等を行うには、現有の機械設備だけでは不十分であるため、より高性能な機械を導入することにより、効率的な栽培を進める。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①自走式ねぎ収穫機・ねぎ皮剥機等の導入により、収穫時間及び調整時間を短縮する
- ②栽培管理作業の省力化に伴うきめ細やかな栽培管理の実施
- ③栽培面積の拡大

産地体制

青森県
つがる市
JAつがるにしきた

指導・助言

つがる市地域農業再生
協議会
①計画の策定・管理
②取組計画への助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(県、町)及び農協等によるサポート体制

取組主体
①取組計画の作成
②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・収穫時間及び調製時間の短縮
- ・稲作から収益性の高いねぎへの転換

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①リース導入による初期投資の節減
- ②収穫・皮剥作業の省力化
- ③適期の栽培管理作業の実施

【事業実施による間接効果】

- ①栽培面積の拡大
- ②きめ細やかな栽培管理の実施



販売額が10%以上増加
(達成率130.4%)

導入した機械により適期に栽培管理が行われ、品質及び収量が向上し、目標を達成することができた。

